

地域協力センター年報

Collaborative Technical Center
No.1 2020.3

独立行政法人 国立高等専門学校機構
大島商船高等専門学校
National Institute of Technology, Oshima College

内容

地域協力センター設置目的	3
ご挨拶	3
地域協力センターの主な活動.....	4
地域協力委員会.....	4
地域協力センター	4
【技術相談】	4
【生涯学習相談】	4
産官学連携.....	5
共同研究.....	5
共同研究報告	7
受託研究.....	10
寄附金	12
地域生涯学習	13
公開講座.....	13
出前授業.....	14
大島商船高等専門学校地域連携交流会事業.....	16
事業の概要	16
地域連携交流会役員会	19
地域連携交流会総会.....	19
地域連携交流会講演会（会員発表，特別講演）	20
地域連携交流会 10 周年記念事業（大島商船高専 施設・設備見学会）	21
ホームページ開設	22
付録.....	24
科学研究費助成事業.....	24
令和元年度教育改善充実費（校長裁量経費）	25
公募助成金（助成金）	26
技術相談申込要領	27
センター主要日誌	29
センター運営会議の開催状況.....	35

地域協力センター設置目的

教育と研究の機能及び設備を開放し、地域の方々のお手伝いをするために、地域協力センターを設けています。企業等からの各種相談に応じること、研究協力や生涯学習の推進を図ることを目的としています。



ご挨拶

平成 31 年 4 月 1 日付けで地域協力センター長に就任しました北風裕教です。技術開発と教育研究の活動を基軸にした地域貢献の推進に向けて業務に取り組んでおります。

大島商船高等専門学校は、商船学科、電子機械工学科、情報工学科の 3 学科からなる高等教育機関です。研究の活性化によるイノベーションの創出および成果の社会還元、また、産学官連携や地域連携活動の促進、そして公開講座や出前授業による地域人材の育成などを通じて、地域社会の活性化や振興に積極的に貢献するために、平成元年に地域協力センターが設置されました。

平成 21 年には、地域振興会となる『地域連携交流会』を設けて、企業等からの各種相談に応じること、研究協力や生涯学習の推進を図ることを目的として活動しています。今後一層地元へ貢献できるように全学を挙げて取り組ましますので、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地域協力センター長
北風裕教

地域協力センターの主な活動

大島商船高専は、平成16年4月から独立行政法人国立高等専門学校機構大島商船高等専門学校となり、新たな一歩を踏み出しました。本校は、商船学科、電子機械工学科及び情報工学科の3学科からなる高等教育機関です。本校では、教育と研究の機能及び設備を開放し、地域の方々のお手伝いをします。そのために校内には次の委員会等を設置しています。

地域協力委員会

企業等からの各種相談に応じ、研究協力や生涯学習の推進を図るため「地域協力委員会」を置いています。この「地域協力委員会」の中に、地域協力センターを設けています。

地域協力センター

【技術相談】

商船学、機械工学、電気・電子工学、制御工学、情報工学、計算機工学、自然科学（数学、物理、気象学、化学、体育等）等の分野について、受託研究、共同研究による研究開発、各種試験・分析等の受託、技術指導、情報提供及び各種相談等を担当しています。

【生涯学習相談】

地域の人々のニーズに合った学習機会の充実とその成果を活かすことのできる環境整備を積極的に支援していきます。

産官学連携

共同研究

本校に民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、共通の課題について、本校の教員と共同で研究を進める制度です。また、本校と民間企業等がそれぞれの施設で研究を行う「分担型の共同研究」もあります。なお、税制の優遇措置として、民間企業等が支出した試験研究費の一定割合が法人税(所得税)額から控除されます。

共同研究は派遣型と分担型とに大別されます。

区分	概略	民間機関などが負担する経費
派遣型	民間企業等から研究員を大島商船高等専門学校に派遣し、本校の施設・設備を使用して本校教員と共同で研究を行うもの	以下の①のみ又は①及び② ① 民間企業等からの研究員派遣に伴う費用 ② 研究に必要とする直接経費
分担型	民間企業等から研究員を派遣せず、大島商船高等専門学校及び民間企業のそれぞれにおいて共通の課題について協力して研究を行うもの	研究に必要とする直接経費

過去の共同研究の受入状況

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
校長	1	1	0	0	0
一般科目	0	0	1	2	1
商船学科	7	4	4	4	2
電子機械工学科	10	3	4	6	8
情報工学科	2	1	1	1	1
技術支援センター	0	0	0	0	0
計	20	9	10	13	12

令和元年度の民間企業との共同研究の受入状況は、12件（継続含む）です。

区分	研究内容	企業名・団体名	研究担当者	期間
分担型	非公開	A社	古瀬宗雄	平成27年度～ 令和2年度
分担型	海上輸送コンテナ貨物の損傷に関する調査研究	一般社団法人日本海事検定協会	川原秀夫 山口伸弥	平成29年度～ 令和元年度
分担型	仙人タンクの輸送中の衝撃値に関する研究	日本物流株式会社	笹岡秀紀 渡邊武 浅川貴史	平成30年度～ 令和元年度
分担型	非公開	徳山工業高等専門学校, B社	岡村健史郎 浦田数馬 砂田智裕	平成30年度～ 令和元年度
分担型	微細気泡発生装置を用いたベンチサイズ船用ディーゼルエンジンの性能評価	三井造船特機エンジニアリング株式会社	川原秀夫	平成30年度～ 令和2年度
分担型	抵抗素子作製プロセス技術の高度化に関する研究	アルファ・エレクトロニクス株式会社	神田哲典	令和元年度
分担型	小型実験車両のためのデータロギングシステムの開発	近畿大学工業高等専門学校	浅川貴史	令和元年度～ 令和2年度
分担型	超高騒音環境下で聞き取りやすい音声への話速変化システムの構築	豊橋技術科学大学	村上泰樹	令和元年度
分担型	結合音の予測技術に関する研究	マツダ株式会社	村上泰樹	令和元年度
分担型	Oshima-ECR イオン源における蒸発源を用いたアルミニウム多価イオンの生成	長岡技術科学大学	中村翼	令和元年度
分担型	レーザースキャニングを用いた三元渦干渉構造の可視化装置システム構築	長岡技術科学大学	中村翼	令和元年度
分担型	非公開	C社	古瀬宗雄	令和元年度～ 令和3年度

共同研究報告

研究題目	非公開	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 古瀬宗雄
	企業・団体名	A社
研究成果の概要	非公開	

研究題目	海上輸送コンテナ貨物の損傷に関する調査研究	
研究体制	高専代表者	商船学科 川原秀夫 商船学科 山口伸弥
	企業名	一般社団法人日本海事検定協会
研究成果の概要	<p>海上輸送中におけるコンテナ内の貨物の損傷が問題となっている。本研究は定置型の20フィートのドライコンテナ（5台）と冷凍コンテナ（1台）を用いて、貨物損傷のメカニズムを解明するために様々な条件を設定し、実環境下で実験、数値解析を行った。ドライコンテナでは汗濡れの発生形態を特定し、防止対策について検討を行った。また冷凍コンテナでは外気条件の変化が庫内の温度、冷気の流れに与える影響について明らかにした。</p>	

研究題目	仙人タンクの輸送中の衝撃値に関する研究	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 笹岡秀紀 商船学科 渡邊武 電子機械工学科 浅川貴史
	企業・団体名	日本物流株式会社
研究成果の概要	<p>災害による断水時、都市圏では給水車の数が不足する。その折、トラックに積載して給水車として利用できる水保管バック（仙人タンク）が有用であるが運用実績が乏しい。そこで車載時の走行、急停止での仙人タンクの揺動状態の調査を行った。現状、小Rを素早く回るより、大Rをゆっくり曲がるときに大きな横揺れが生じること、急制動時にタンク上前方に大きく揺れること、それを防ぐには面上の固縛が有効であることが分かった。</p>	

研究題目	非公開	
研究体制	高専代表者	情報工学科 岡村健史郎 商船学科 浦田数馬 技術支援センター 砂田智裕
	企業・団体名	徳山工業高等専門学校 B社
研究成果の概要	非公開	

研究題目	微細気泡発生装置を用いたベンチサイズ船用ディーゼルエンジンの性能評価	
研究体制	高専代表者	商船学科 川原秀夫
	企業・団体名	三井造船特機エンジニアリング株式会社
研究成果の概要	<p>海外依存する化石燃料の価格は、各種要因により乱高下する場合も多く、海運業界の船舶輸送の燃料費も同様な状況にあり、燃料コストを低減する必要がある。船舶用エンジンの燃料に添加剤などではなく、微細気泡を混入して燃焼改善を図る研究開発がわずかに行われているが、船舶用エンジンに対する技術開発はほとんど見られてない。本研究では、燃料に微細気泡を混入する燃費改善装置を提案し、本装置による船用ディーゼル機関の運転性能を評価した。</p>	

研究題目	抵抗素子作製プロセス技術の高度化に関する研究	
研究体制	高専代表者	一般科目 神田哲典
	企業・団体名	アルファ・エレクトロニクス株式会社
研究成果の概要	<p>本研究では抵抗阻止の長期信頼性向上を目的にスパッタ法による無機物系保護膜の開発を主に進めている。成膜時のガス種、混合比、圧力、投入パワー等の各種成膜パラメータの最適化により、所望の組成の保護膜を得ることができた。現在、抵抗素子上に保護膜を作製し、信頼性評価の各種試験を行っており、最適膜厚の検討を行っている。</p>	

研究題目	小型実験車両のためのデータロギングシステムの開発	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 浅川貴史
	企業・団体名	近畿大学工業高等専門学校
研究成果の概要	<p>近年の環境問題を踏まえ、小型電動自動車など電動モータを用いた「乗り物」の研究実験が進められています。近畿大学工業高等専門学校では、その一環として鈴鹿サーキットで開催される「ソーラーカーレース鈴鹿」や「Ene-1 Challenge suzuka KV-BIKE」に参加しています。そこで本研究では、これらの車両のGPS情報・バッテリー電圧変動・温度・加速度などのデータを、リアルタイムに伝送できるデータロギングシステムの開発に取り組んでいます。</p>	

研究題目	超高騒音環境下で聞き取りやすい音声への話速変化システムの構築	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 村上泰樹
	企業・団体名	豊橋技術科学大学
研究成果の概要	<p>騒音環境下で音声を拡声するために音量を大きくする。本研究では、音量を操作する以外の方法として、発話速度を制御することで聞き取りやすい音声への変換システムを作成した。心理実験を用いた評価を行ったところ、単語語頭の発話時間を遅くすることで単語が聞き取りやすくなることが分かった。今後は、音量と発話速度を同時に制御することで、効果的な拡声方法について検討する。</p>	

研究題目	結合音の予測技術に関する研究	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 村上泰樹
	企業・団体名	マツダ株式会社
研究成果の概要	<p>結合音は聴覚でおこる生理現象である。本研究では、計算モデルを用いて結合音の生起を予測することで、低い音圧でも力強い自動車音のサウンドデザインを目指した。研究の結果、計算モデルを用いることで結合音の予測が可能となった。今後は、心理実験、生理/心理実験、神経生理学実験からも自動車音を解析し、物理的な音圧を上げることなく、力強いサウンドを実現する。そして、ヒトが心地よさを感じ、運転する楽しさやワクワク感を高めるサウンドデザインについて検討する。</p>	

研究題目	Oshima-ECR イオン源における蒸発源を用いたアルミニウム多価イオンの生成	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 中村翼
	企業・団体名	長岡技術科学大学
研究成果の概要	<p>本研究は、富山高専、大分高専、長岡技科大との複数高専-長岡技科大との共同研究であり、パワー半導体製造において、基板材料である SiC にアルミニウムイオンを注入する技術を開発するため、キーとなるアルミニウム多価イオンの生成確認および生成率向上に関して、研究を展開している。現状では、アルミニウム 1 価のイオン生成を確認した。しかし、その生成量が少ないため、2 価以上の多価イオンを確認するに至っていない。</p>	

研究題目	レーザースキャニングを用いた三次元渦干渉構造の可視化装置システム構築	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 中村翼 (代表：大分工業高等専門学校 機械工学科 稲垣歩)
	企業・団体名	長岡技術科学大学
研究成果の概要	<p>本申請では、三次元渦干渉構造の流れ場を理解するための「レーザースキャニングを用いた三次元可視化装置」のシステム構築を目的とし、可視化計測の検証、画像処理プログラムの製作、Arduino で駆動するアクチュエータを用いた三次元移動機構の製作を行なった。また、可視化計測の検証内容を、可視化情報シンポジウムのアートコンテストで発表し金賞を受賞した。</p>	

研究題目	非公開	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 古瀬宗雄
	企業・団体名	C 社
研究成果の概要	非公開	

受託研究

民間企業等から特定の研究の委託を受けて、本校の教員が公務として行う研究です。経費は、研究を委託した方に負担していただきます。

過去の受託研究受入状況

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
校長	1	1	1	0	0
一般科目	0	0	0	0	0
商船学科	1	2	0	1	0
電子機械工学科	1	2	1	3	2
情報工学科	0	0	0	0	0
技術支援センター	0	0	0	0	0
計	3	5	2	4	2

令和元年度の受託研究の受入状況は、2件（継続含む）です。

相手方	担当教職員	研究課題
JST	増山新二	「未来社会に必要な革新的水素液化技術」に参画
株式会社サイバー創研	浅川貴史	Wi-SUN 機器と船舶基地局による離島のための災害時通信網の確立：瀬戸内無線局

研究題目	未来社会に必要な革新的水素液化技術	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 増山新二
	企業・団体名	国立研究開発法人 科学技術振興機構
研究の概要	<p>2017年策定の「水素基本戦略」には、水素コストをガソリンやLNG等と同等程度にする目標が掲げられ、2030年までの行動計画が示されている。この戦略を達成するための技術課題に「水素液化技術」が挙げられる。そこで本プロジェクトが、磁気冷凍技術を進展させた革新的水素液化技術の開発を目指し2018年度にスタートした。その内容は、①液化効率50%以上、液化量100kg/day以上の能力を有する水素液化機、②液化水素ゼロボイルオフを目指した小型・省電力冷凍機の開発である。研究体制はNIMSが主体となり、国内諸機関が参画するオールジャパン体制が敷かれている。</p>	

研究題目	Wi-SUN 機器と船舶基地局による離島のための災害時通信網の確立：瀬戸内無線局	
研究体制	高専代表者	電子機械工学科 浅川貴史
	企業・団体名	株式会社サイバー創研
研究成果の概要	<p>総務省では、ワイヤレスサービスの発展，並びに第5世代移動通信システム（5G）の実現に向けて、「高専ワイヤレス IoT 技術実証コンテスト」を実施しています。本研究はその中の「ワイヤレス IoT 活用部門」として採択されました。実施内容は，瀬戸内などの離島で大規模災害時よる全戸停電時での安否確認のために，サブ GHz 帯無線ネットワーク装置を用い，練習船大島丸を情報キー局とした災害時通信網の構築とその実証実験を行いました。</p>	

寄附金

民間企業等や個人投資家からの寄附を受け入れて、本校の研究や教育の充実発展に活用させていただく制度です。「〇〇に対する研究」等研究目的を指定したのも可能です。なお、税制上の優遇措置として国に対する寄附金となり、法人の場合は全額を損金に算入、個人の場合は所得の25%を限度として所得控除ができます。

過去の寄附金受入状況 (※) 公募助成金を除く

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
学校に対して	13	11	6	6	7
一般科目	0	0	1	0	0
商船学科	1	1	2	1	0
電子機械工学科	4	2	4	5	4
情報工学科	1	0	1	0	0
技術支援センター	0	0	0	0	0
計	19	14	14	12	11

教員に対する令和元年度の寄附金の受入状況は、4件（新規）です。

相手方	担当教職員	研究課題
リバストン工業株式会社	古瀬宗雄	大島商船高等専門学校古瀬教授の研究助成のため (溶射膜の高品質化に関する研究)
株式会社日立ハイテク テクノロジーズ	古瀬宗雄	大島商船高等専門学校古瀬教授の研究助成のため(1)
株式会社日立ハイテク テクノロジーズ	古瀬宗雄	大島商船高等専門学校古瀬教授の研究助成のため(2)
日本発条株式会社	古瀬宗雄	大島商船高等専門学校古瀬教授の研究助成のため

地域生涯学習

公開講座

毎年7月～9月頃を中心に、様々な分野の公開講座を開催しています。受講者は、講座のテーマ、対象者の年齢、人数などにより制限することがありますが、原則として、どなたでも受講できます。受講料は、講座により異なります。なお、その年度に実施する公開講座のテーマについては、ポスター、パンフレット、自治体広報、本校ホームページ等でお知らせしています。

令和元年度は、3件の公開講座が執り行われました。実習工場や情報教育センター、図書館などの改修工事が行われたため例年に比べて件数が少ない状況となりました。

令和元年に開催した公開講座は以下の通りです。

日程	公開講座名	対象	遂行人数	講師
7月～3月 金曜日 (月2回程度、全15回)	基礎から学ぶ韓国語講座 ＜ステップアップ＞	一般(中学生以上)	5人	朴鍾徳
8月23日(金)	もの作り体験講座 －電池とモーターで動く－	小学生(高学年)、 中学生	4人	岡野内悟
8月28日(水)	夏休みプログラミング講座 －Scratchでプログラミング－	小学5年生以上、 中学生	4人	松村遼



公開講座の様子

出前授業

小学校や中学校、保育園などに講師を派遣して出前授業を行っています。

令和元年度は、17件の出前授業が執り行われました。

令和元年に開催した出前授業は以下の通りです。

日程	内容 (出前授業先)	対象	遂行人数	講師
5月21日(火) 10:25~12:10	サバイバルレッスン (周防大島町立大島中学校)	全校生徒 教職員	72人 14人	小林孝一朗 渡邊武
6月20日(木) 13:45~15:00	防災出前授業 (柳井市立柳北小学校)	生徒 教職員	19人 2人	幸田三広 小林孝一朗
7月9日(火) 13:40~15:00	防災出前授業 (柳井市立柳井西中学校)	全校生徒 教職員	128人 16人	渡邊武 松村遼
7月15日(月)	B&Gカヌー教室 (周防大島町B&G海洋センター)	小学生以上	約60名	幸田三広
7月19日(金) 10:30~12:00	はしるふねをつくろう (社会福祉法人放光福祉会放光保育園)	児童 教職員	21人 3人	前畑航平 山口伸弥
7月20日(土) 10:00~16:30	サイエンスアカデミー(3回の教室) (防府市青少年科学館ソラール)	小学3年生 ~6年生	20人 ×3回	山口伸弥
7月30日(火) 10:00~12:00	はしるふねをつくろう (社会福祉協議会三浦児童クラブ)	児童 教職員	15人 3人	前畑航平 山口伸弥
7月31日(水) 10:00~12:00	はしるふねをつくろう (柳井市立大島保育所)	児童 教職員	9人 3人	前畑航平 山口伸弥
8月1日(木) 10:30~12:00	はしるふねをつくろう (安正保育園)	児童 教職員	16人 3人	前畑航平 山口伸弥
8月2日(金) 10:30~12:00	はしるふねをつくろう (社会福祉法人ルンビニ保育園)	児童 教職員	23人 1人	前畑航平 山口伸弥
8月5日(月) 10:30~12:00	はしるふねをつくろう (中保育園)	児童 教職員	20人 4人	前畑航平 山口伸弥
8月19日(月) 10:30~12:00	はしるふねをつくろう (社会福祉法人最勝会伊陸保育園)	児童 教職員	11人 1人	前畑航平 山口伸弥
8月23日(金) 10:30~12:00	はしるふねをつくろう (社会福祉法人ひづみ保育園)	児童 教職員	17人 10人	前畑航平 山口伸弥
10月2日(水) 8:30~12:15	ロボット入門講座 (周防大島町立大島中学校)	小学5,6年 教職員	49人 10人	岡野内悟
11月27日(水) 10:40~12:00	サバイバルレッスン (上関町立上関小学校) (上関町立上関中学校)	小学生 中学生 教職員	67人 27人 22人	幸田三広 小林孝一朗 渡邊武

1月15日(水) 10:20~11:05	サバイバルレッスン (周防大島町立油田小学校)	2年生~ 6年生 教職員	7人 6人	幸田三広 小林孝一郎 渡邊武
1月18日(土) 10:30~15:00	水ではしるふねをつくろう! (少年少女科学体験スペース・O-Labo)	小学生	20人 ×2回	渡邊武 山口伸弥



出前授業の様子

大島商船高等専門学校地域連携交流会事業



事業の概要

趣旨・事業内容

大島商船高等専門学校地域連携交流会は、大島商船高専と海事産業界及び地域産業界（地元企業・地場産業）との各種交流を通じて、海事産業・地域産業等の発展に寄与するとともに、大島商船高専の教育研究の振興を図ることを目的として、平成21年10月に設立されました。

令和元年度の会員数は、法人会員33団体、特別会員11団体、個人会員27名です。法人会員の年会費は一口10,000円（一口以上）で、個人会員の年会費は一口2,000円（一口以上）、特別会員は無料となっています。

会員企業（法人会員33団体）

	企業名・団体名	所在地
1	株式会社アイ・キャン(★)	〒740-0022 岩国市山手町 1-17-3
2	あさひ製菓株式会社(★)	〒742-0021 柳井市柳井 5275 番地
3	株式会社アデリー	〒742-0021 柳井市柳井 11171 番地 1
4	有限会社岩本商事	〒745-0044 周南市千代田町 11-36
5	株式会社インフォコム西日本(★)	〒740-0012 岩国市元町 4-12-5
6	株式会社エス・イー・サポート	〒731-3164 広島県広島市安佐南区沼田町伴 6000-7
7	大島郡水産共励会	〒742-2601 大島郡周防大島町大字西安下庄 3920
8	大島商船高専同窓会	〒742-2193 大島郡周防大島町小松 1091-1 校内
9	有限会社大野屋商店(★)	〒742-0021 柳井市柳井 1574-26

10	小田水産 (★)	〒742-1111 熊毛郡平生町大字佐賀浜田 1607-1
11	カワノ工業株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 1740 番地 1
12	吉祥海運株式会社	〒747-0814 防府市三田尻 2-11-1
13	株式会社サンテック	〒745-0862 周南市江口 2 丁目 1 番 17 号
14	Cherie 合同会社 (★)	〒744-0018 下松市西郷 2 丁目 3-30-313
15	株式会社新笠戸ドック	〒744-0001 下松市大字笠戸島 29 番地 120
16	新川電機株式会社 西中国支社 (★)	〒745-0811 周南市五月町 10-45
17	一般財団法人新日本検定協会 (★)	〒108-0074 東京都港区高輪 3 丁目 25 番 23 号 京急第 2 ビル
18	新立電機株式会社	〒744-0002 下松市東海岸通り 1 番地 10
19	周防大島町商工会	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4485
20	大晃機械工業株式会社	〒742-1598 熊毛郡田布施町大字下田布施 209-1
21	太陽通信株式会社 (★)	〒742-0032 柳井市古開作 563-6
22	有限会社千鳥	〒742-2803 大島郡周防大島町土居 1094-1
23	帝人株式会社 岩国事業所 (★)	〒740-8511 岩国市日の出町 2-1
24	徳山海陸運送株式会社	〒745-0025 周南市築港町 2 番 18 号
25	有限会社中谷事務機	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4775
26	株式会社中村造船鉄工所	〒742-1353 柳井市阿月宇積 1020-1
27	株式会社沼田ヤンマー商会	〒742-0021 柳井市柳井 150-60
28	株式会社フジマ (★)	〒742-8555 柳井市柳井 987
29	株式会社藤本コーポレーション	〒742-0023 柳井市南浜 3 丁目 1-1

30	防予フェリー株式会社	〒742-0021 柳井市柳井 134
31	山口県農業協同組合 周防大島統括本部	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4723 番地
32	ヤンマー株式会社 中国特販部	〒731-5145 広島県広島市佐伯区隅の浜 3 丁目 1-31
33	ヤンマーエネルギーシステム株式会社	〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町 1-9

★は令和元年度に新しく会員になった企業・団体です。

特別会員（11 団体）

	企業名・団体名	所在地
1	岩国市 (★)	〒740-8585 岩国市今津町 1 丁目 14-51
2	上関町 (★)	〒742-1402 熊毛郡上関町大字長島 503
3	公益財団法人やまぐち産業振興財団	〒753-0077 山口市熊野町 1-10 NPY ビル 10 階
4	西京銀行 大島支店	〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4341-1
5	周防大島町	〒742-2192 大島郡周防大島町大字小松 126-2
6	田布施町 (★)	〒742-1592 熊毛郡田布施町大字下田布施 3440 番地 1
7	日本政策金融公庫 岩国支店	〒740-0018 岩国市麻里布四丁目 1 番 3 号 ARK ビル II 2 階
8	平生町 (★)	〒742-1195 熊毛郡平生町大字平生町 210-1
9	柳井市	〒742-8714 柳井市南町一丁目 10 番 2 号
10	山口銀行 大島支店	〒742-2106 大島郡周防大島町大字小松 278-4
11	山口県水産研究センター	〒753-8501 山口市滝町 1 番 1 号

★は令和元年度に新しく会員になった団体です。

個人会員（27 名）

地域連携交流会役員会

地域連携交流会役員会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、当年度の事業計画（案）、予算（案）、総会日程（案）等について検討されます。会員（企業、個人）と大島商船高等専門学校との密接な交流による教育研究の活動を支援するとともに、地域連携事業の円滑な推進を図り、地域社会が発展することを目的に議論が行われます。

令和元年度は、6月5日（水）15時から大島商船高等専門学校大会議室において実施され、特にWebサイトの構築事業、10周年記念事業について検討されました。



山田多加司会長挨拶



役員会の様子

地域連携交流会総会

地域連携交流会総会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、地域連携交流会役員会で議論された当年度の事業計画（案）、予算（案）についての承認が行われます。事業計画（案）では、1. 情報交換などによる交流促進、2. 共同研究等による地域振興、3. 大島商船高専への支援事業についての詳細な確認が行われます。また、予算（案）においては、目的が達成されるよう配分がされているかの確認が行われます。

令和元年度は、9月6日（金）午後14時から大晃機械工業株式会社国際研修センターで実施され、滞りなく議題に対する承認が行われました。特にWebサイトの構築事業について、株式会社藤本コーポレーションからWebシステムの説明があり、4月のWeb公開に向けての確認が行われました。



川口勉会長代理挨拶



地域連携交流会総会の様子

地域連携交流会講演会（会員発表，特別講演）

地域連携交流会総会と同日に、会員発表および特別講演が催されます。会員発表では、会員企業間における連携を強める目的で、企業様の経営理念や企業テーマ、会社説明などが行われます。特別講演では、企業間の連携や企業と高専の連携をより具体化するために、大学やNPO法人から専門の方を招聘して、共同研究や受託研究などについてのメリットや事例紹介を行います。

令和元年度は、9月6日（金）午後14時30分（総会終了後）に同会場（大晃機械工業株式会社国際研修センター）で実施されました。

令和元年度

大島商船高等専門学校地域連携交流会総会

日時 令和元年9月6日（金） 14時00分～16時50分

場所 大晃機械工業株式会社 国際研修センター

14時00分 総会

14時30分 会員発表（1）

株式会社沼田ヤンマー商会 会社説明

株式会社沼田ヤンマー商会 代表取締役 **沼田 和久** 氏



15時00分 会員発表（2）

経営理念「与える人生」「遊働」
企業テーマ「職場内自営業者」

株式会社アデリー 取締役会長 **小野 悟** 氏



15時30分 特別講演

産学官連携による共同研究・受託研究のメリットと事例紹介
～農水省と電機メーカーとセンサ開発、自動車メーカーと音開発～

広島市立大学大学院 情報科学研究科 システム工学専攻 **石光 俊介** 氏



豊橋技術科学大学大学院卒業後、バイオエ入社。カーオーディオ、アクティブノイズコントロール、カーナビゲーション(音声認識)を手がける。その後、大島商船高専にてそれらが大島丸に應用しようとし、壁にぶら当たると、それを乗り越えるために、サウザンプトン大学での在外研究のために渡米。帰国後、兵庫県立大学を経て、現職。音響制御や感性評価などで産学官連携リンクをこなす中で学生さんの成長や様々な研究シーズを発見するとともに、対象分野も広がっていくことも実感。最近では、サウンドアイコン、快音化とその評価、適応音質制御、家畜罹患早期発見AIセンサの研究に従事。近著に「人間工学の基礎」(養賢社、2018年)等がある。

16時50分 閉会式

17時00分～18時00分 懇親会 参加費:お一人様 2,000円

お問い合わせ先 〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校 総務課 企画係 TEL: 0820-74-5457 MAIL: kikaku@oshima-kao.jp



会員発表の様子（左：沼田和久様，右：小野悟様）



特別講演（石光俊介様）の様子

地域連携交流会 10 周年記念事業（大島商船高専 施設・設備見学会）

平成 21 年に大島商船高専地域連携交流会が発足して令和元年度で丁度 10 年目の節目の年となり、それを記念して大島商船高等専門学校の施設・設備見学会を令和元年 9 月 6 日（金）の午前に実施しました。本校にある施設や設備は最先端の研究で利用されるものが多く、また一般公開されることはそれほどないため、多くの会員企業の方が参加されました。

**地域連携交流会10周年記念事業
大島商船高専 施設・設備見学会**

日時：9月6日(金) 9:20～12:00 <参加費無料>

<当日のスケジュール>

- 09:00～09:20 受付(大会議室)
- 09:20～09:25 開会式
- 09:30～09:50 **DAW機器・成膜装置・3Dプリンタ**
情報工学科 講師：山田博
伝統唱歌や音楽音楽をDAWによりアレンジして制作しています。低環境負荷な透明導電膜作製にSPD成膜装置や蒸着装置、電気管状炉があり、ものづくり支援のためにUVレーザー3Dプリンタなどがあります。
山田博先生
- 09:55～10:15 **バーチャルリアリティシステム**
情報工学科 講師：河合宏紀、松村遼
没入型VRシステム
3面スクリーンにプロジェクターで3D映像を投影し、3Dメガネをかきつけて中に入ること仮想現実(VR)を体験できる装置です。
高専プロコン特別受賞作品「AirRider」
AirRiderはVRパラグライディング体験システムです。ヘッドマウントディスプレイやセンサーセンサなど様々な機器、装置を用いて、没入感を高めています。
河合宏紀先生 松村遼先生
- 10:20～10:40 **電子顕微鏡による解析**
電子機械工学科 講師：古瀬宗雄
大島商船高等専門学校では、分解能7nmの走査型電子顕微鏡を保有しており、通常の光学顕微鏡より高倍率の組織観察が可能です。また、EDX(元素分析装置)も付属しているため、製品の不良解析等に利用することが可能です。
古瀬宗雄先生

10:45～11:05 **高真空または大気圧下で生成したプラズマの応用**
電子機械工学科 講師：中村翼、笹岡秀紀、古瀬宗雄
大気圧下で生成したプラズマの応用例として、表面改質(ドライ洗浄)等が挙げられます。ECRイオン源は、ある特定の多価イオンを抽出(注入)できる装置で、本装置では特定の多価イオンを生成する基礎研究を行っています。
中村翼先生 笹岡秀紀先生

11:10～11:30 **荒天航泊実験室・回流水槽ほか**
商船学科 講師：木村安宏
荒天航泊実験室に設置されている3つの水槽装置を使用し、以下の実験が可能です。
風洞水槽実験装置：風・波が設定された中での模型船の挙動の観察
回流水槽実験装置：推進性能に関する模型実験
錨船駐力実験装置：船の錨ならびに錨鎖の把駐性に関する実験
木村安宏先生

11:35～11:55 **総合的操船シミュレーター**
商船学科 講師：岩崎寛希、久保田崇
校内練習船・大島丸(220GT,長さ42m)より大きな船の操縦、行かない遠い海域や混み合う海域、さらに、視界の悪い霧、夜間などの危険な海域での操縦訓練に用いる装置です。3次元CGを大型円筒形スクリーンに投影し、日本国内やマラッカ海峡などの海域の操縦を疑似体験できます。
岩崎寛希先生 久保田崇先生

11:55～12:00 閉会式

総合的操船シミュレーター 没入型VRシステム

お問い合わせ先 〒422-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松1091番地1
大島商船高等専門学校 総務課 企画係 TEL：0825-74-5457 MAIL：f@stud@oshima-hk.ac.jp

会員企業へ配布したチラシ



DAW 機器の説明の様子



HMD 型 VR の説明の様子



VR の説明の様子



プラズマの応用事例についての説明の様子



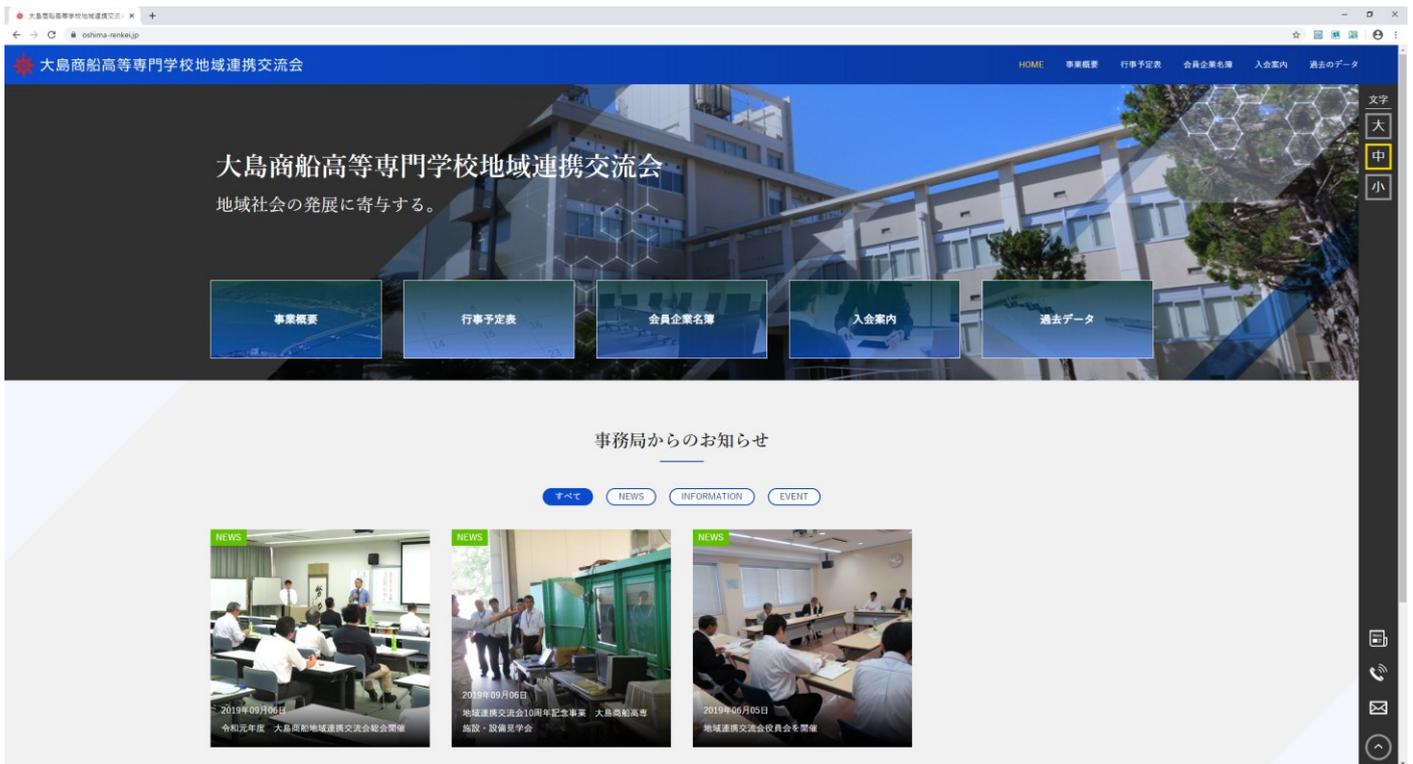
回流型水槽の説明の様子



操船シミュレータの体験の様子

ホームページ開設

令和2年3月16日に大島商船高等専門学校地域連携交流会のWebサイトを新しく開設しました。事務局からのお知らせをはじめ、事業概要、行事予定表、会員企業名簿、入会案内、過去のデータを掲載しております。また、各会員様からのニュースやイベントについてもWebサイトのトップページに掲載することで、地域協力が円滑に行えるようになっていきます。



Web サイトトップページ



各記事のページ

付録

科学研究費助成事業

概要

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文学，社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり，基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり，ピアレビューによる審査を経て，独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

過去の受入状況（継続を含む件数，分担は含まない）

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
基盤研究 (A)	0	0	0	0	0
基盤研究 (B)	0	0	0	0	0
基盤研究 (C)	7	7	3	3	3
挑戦的研究 (萌芽)	2	2	1	0	0
若手研究 (A)	0	1	1	1	0
若手研究 (B)	2	2	1	1	1
若手研究	0	0	0	3	3
研究活動スタート支援	0	0	0	0	0
奨励研究	0	0	0	0	1
計	11	12	6	8	8

令和元年度科学研究費助成事業 新規採択状況

研究種目	研究課題	研究代表者 (期間)
基盤研究 (C)	実海域での船体傾斜及び人為的ミスが冷凍・冷蔵コンテナ貨物の熱的損傷に与える影響	川原秀夫 (令和元年度～令和3年度)
奨励研究	指導者目線を取り入れた旋盤実習における安全作業向上への取組み	砂田智裕 (令和元年度)

令和元年度教育改善充実費（校長裁量経費）

概要

機構本部から配分される運営費交付金等は前年度の実績額・配分額，また各部署から提出された「所要額積算調書【一般経費・特別経費】」の内容を検討し，年度の必要性を踏まえた上で予算配分額を決定しています。また，一定額を「校長裁量経費」として確保し，教職員から研究及び教育改善に必要な資金として公募を行い，ヒアリングを実施し決定のうえ所要額を配分しています。施設整備についても，一定額を校長裁量経費として教育設備整備費経費を確保し，学科単位で申請書の提出を求めて，ヒアリングを実施して決定のうえ，所要額を学科に配分されています。以下が，令和元年度の校長裁量経費の採択状況です。校長裁量経費で採択された研究成果は，期間終了後に教員研究発表会で報告が行われます。

令和元年度校長裁量経費採択状況

学科等	代表担当者	プロジェクトの名称
一般科目	幸田三広	学生 PWC レスキュー隊活動を通じた人材育成
一般科目	神田哲典	強磁性体のスピン波干渉効果を利用した磁化ダイナミクス制御の研究
一般科目	藤井忍	球面内の 4 次等径超曲面の幾何学
商船学科	久保田崇	操船シミュレータの維持と今後の更新について
電子機械工学科	学科申請	機械力学シミュレータ
電子機械工学科	浅川貴史	高齢者・障害者のための生活支援システムに関する研究
電子機械工学科	笹岡秀紀	緻密で高耐電な溶射膜の形成技術の開発
電子機械工学科	藤井雅之	第二種電気工事士合格によるキャリア支援プロジェクト
情報工学科	学科申請	協働授業用 タブレット端末と机 一式
情報工学科	北風裕教	データベース室 PC の Mac と Windows のマルチブートの実現

公募助成金（助成金）

概要

民間企業等の団体による助成事業に応募して採択された事業です。

過去の採択状況（入金年度を記入しています。）

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
一般科目	1	0	1	0	0
商船学科	3	1	0	3	2
電子機械工学科	1	1	1	3	2
情報工学科	0	0	0	0	0
技術支援センター	0	0	0	1	0
その他	0	1	0	0	0
計	5	3	2	7	4

令和元年度公募助成金採択状況

団体名	研究題目	助成額 (千円)	氏名
公益財団法人中国電力技術研究財団	海水を含んだ発泡ポリスチレン廃棄物の脱塩・減容化後のエネルギーリサイクル	400	川原秀夫
公益財団法人八洲環境技術振興財団	発泡ポリスチレン粒子吹き込み混入による燃焼器における粒子挙動と燃焼特性	1,000	川原秀夫
公益財団法人中国電力技術研究財団	E C R イオン源を用いたアルミニウム多価イオン生成における基礎検討	450	中村翼
公益財団法人双葉電子記念財団	高出力・高効率小型 4K 冷凍機の開発 - 世界最高レベルの維持と向上を目指して	非公開	増山新二

技術相談申込要領

相談内容は次のようなものがあげられます。技術相談とは、企業等における技術的な問題解決を中心とした一時的な相談をいいます。技術相談の申請は、原則として地域協力センターで受付いたします。

(1) 科学技術相談 (2) 地域交流相談 (3) 教育相談 (4) 共同研究相談 (5) 調査研究相談

相談の申込みは、地域協力センター技術相談申込書(様式1)に、相談内容をできるだけ具体的にご記入の上、後記の問い合わせ先にお送りください。ご記入いただきました情報は、技術相談に対する回答などのために入手するもので、あらかじめ同意を得ることなく、この目的以外の利用はいたしません。相談申込所受理後、相談内容に最も適切と思われる教員を選定した上で、相談日時などを連絡させていただきます。しかしながら、申し込まれた相談内容に対して、お答えできる教員が本校に在籍しない場合は、相談に応じられない場合がありますのでご了承ください。

また、大島商船高等専門学校の名称を利用することのみを目的とする相談には応じられません。

技術相談は、初回は原則無料です。2回目以降の相談については、問題解決のために時間や経費を必要とする場合には、技術相談料の徴収や共同研究等として取り扱うことになります。ただし、地元企業との連携状況や地域性を勘案し、必要に応じては2回目以降も無料として取り扱われることもあります。

技術相談料金表

相談回数	金額	備考
1回目	無料	
2回目以降	30,000円/1回 (消費税別) 1回の相談は、2時間で3日分を想定	地元企業との連携状況や地域性を勘案し、2回目以降も無料となることがあります。

〒742-2193

山口県大島郡周防大島町大字小松1091-1

大島商船高等専門学校総務課企画係 TEL 0820-74-5457 FAX 0820-74-5552

E-mail kikaku@oshima-k.ac.jp URL <https://www.oshima-k.ac.jp>

技術相談申込書 (様式1)

技術相談報告書 (様式2)

別紙1
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談申込書

地域協力センター長 殿

下記のとおり技術相談を申込みます。

記

申 込 者	企業名等	
	役 職	
	氏 名	印
	住 所	
	電 話	
	E-mail	
担当教職員の希望	<input type="checkbox"/> 有 (担当教職員名: 〇〇 〇〇) <input type="checkbox"/> 無	
相談内容	具体的に記入ください。	

次の事項について、ご確認の上、同意いただける場合は、しをご記入願います。

秘密保持	<input type="checkbox"/> 技術相談の経過において、担当教職員よりノウハウ等の提供を受けた場合、秘密保持契約を締結することに同意する。 ※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。
知的財産の取扱い	<input type="checkbox"/> 技術相談の経過又は結果、担当教職員の寄与により知的財産が生じた場合、当校へ書面にて通知することに同意する。 ※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。

別紙2
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談報告書

地域協力センター長 殿

(報告者) 所属: 〇〇学科・技術室
 役職: _____
 氏名: _____ 印

下記のとおり技術相談を行いましたので報告します。

記

技術相談実施日時	令和〇〇年〇〇日 (〇) 〇〇: 〇〇 ~ 〇〇: 〇〇 (〇〇時間)
相 談 者 ※名刺の写し添付可	企業名等:
	役 職:
	氏 名:
	連絡先:
相談内容	
対 応	ノウハウ等の提供 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	秘密情報の受領 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	今後の対応 <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 無
	知的財産の創出 <input type="checkbox"/> 有 ※詳細は別途発明等届のとおり (口発明・口考案・口意匠・口ノウハウ・口その他) <input type="checkbox"/> 今後創出する可能性が有 <input type="checkbox"/> 無
以下 記入不要.....
確認欄	相談料 : <input type="checkbox"/> 有料 (〇〇〇〇 円) <input type="checkbox"/> 無料
	秘密保持契約 : <input type="checkbox"/> 締結済み <input type="checkbox"/> 後日締結が必要 <input type="checkbox"/> 締結は不要
	発明等の取扱い : <input type="checkbox"/> 知的財産委員会へ相談 <input type="checkbox"/> 無
	今後の対応 : <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 相談継続 <input type="checkbox"/> 無 (完了)

地域協力センター長	総務課長	課長補佐	企画係長	担当者

センター主要日誌

月日	事項	場所等
4/3 (水)	交流会総会講演者依頼相談	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4/8 (月)	交流会 Web 見積	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4/10 (水)	交流会総会講演者依頼	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4./10 (水)	交流会役員調整	山口県柳井市 株式会社アデリー
4/12 (金)	交流会役員調整	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4/15 (月)	青少年のための科学の祭典	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4/15 (月)	交流会役員調整	山口県柳井市 株式会社沼田ヤンマー商会
4/17 (水)	平成 30 年度事業報告等にかかる調査票提出	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4/23 (火)	就職進学合同説明会予算	大島商船高等専門学校 地域協力センター
4/23 (火)	自己点検・評価委員会・センター報告値修正	大島商船高等専門学校 大会議室
5/8 (水)	第 1 回地域協力委員会	大島商船高等専門学校 大会議室
5/9 (木)	共同研究依頼	山口県熊毛郡平生町 小田水産
5/10 (金)	海洋教育パイオニアスクールプロジェクト・第 1 回打合せ	大島商船高等専門学校 藤井教員実験室
5/11 (土)	交流会 10 周年イベント相談	大島商船高等専門学校 川原教員室
5/15 (水)	大島丸による社内研修（大晃機械工業株式会社）	大島商船高等専門学校 大島丸
5/15 (水)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	大島商船高等専門学校 岡野内教員室
5/17 (金)	公開講座・出前授業の内容決定・予算の調整	大島商船高等専門学校 地域協力センター
5/19 (日)	共同研究依頼・地域連携交流会コーディネータ依頼	大島商船高等専門学校 地域協力センター

5/21 (火)	出前授業 サバイバルレッスン	周防大島町 周防大島町立大島中学校
5/24 (金)	中国地区産学官連携コンソーシアム運営会議(さんさんコンソ)	岡山県岡山市 岡山大学
6/1 (土)	岩国環境フェスタ 2019	山口県岩国市 岩国市役所
6/5 (水)	大島商船高専地域連携交流会役員会	大島商船高等専門学校 大会議室
6/10 (月)	徳山高専テクノ・アカデミア総会	山口県周南市 遠石会館
6/19 (水)	会員企業・募集活動	山口県熊毛郡平生町 小田水産
6/20 (木)	出前授業 防災出前授業	山口県柳井市 柳井市立柳北小学校
6/28 (金)	地域連携交流会・企業連携・共同研究	山口県柳井市 株式会社アデリー
6/28 (金)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依	大島商船高等専門学校 地域協力センター
7/1 (月)	就職進学合同説明会予算関連・合同学校説明会関連	大島商船高等専門学校 中村教員室
7/9 (火)	海洋教育パイオニアスクールプロジェクト・第2回打合せ	大島商船高等専門学校 小会議室
7/9 (火)	出前授業 防災出前授業	山口県柳井市 柳井市立柳井西中学校
7/12 (金)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県柳井市 あさひ製菓株式会社
7/15 (月)	出前授業 B&G カヌー教室	山口県大島郡周防大島町 B&G海洋センター
7/16 (火)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県岩国市 株式会社アイ・キャン
7/17 (木)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県岩国市 株式会社インフォコム西日本
7/17 (木)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会	山口県岩国市 株式会社アイエムシンクタンク
7/19 (金)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県柳井市 社会福祉法人放光福祉会放光保育園
7/19 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ>(第1回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
7/20 (土)	出前授業 サイエンスアカデミー	山口県防府市 防府市青少年科学館ソラール

7/22 (月)	情報工学科4年生 HR 企業講演会, 校長面談	大島商船高等専門学校 情報工学科4年教室
7/24 (水)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県玖珂郡和木町 和木町商工会
7/24 (水)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県岩国市 株式会社西部
7/25 (木)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県柳井市 トヨタカローラ山口株式会社
7/26 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第2)	大島商船高等専門学校 小会議室
7/30 (火)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県柳井市 柳井市商工会議所
7/30 (火)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県大島郡周防大島町 周防大島町社会福祉協議会三浦児童クラブ
7/31 (水)	令和元年度周防大島町との連携協力推進会議	大島商船高等専門学校 大会議室
7/31 (水)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県柳井市 柳井市立大島保育所
8/1 (木)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県大島郡周防大島町 安正保育園
8/2 (金)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県柳井市 社会福祉法人ルンビニ保育園
8/4 (日)	青少年のための科学の祭典 in 岩国 (由宇会場)	山口県岩国市 山口県由宇青少年自然の家 (山口県ふれあいパーク)
8/5 (月)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県大島郡周防大島町 中保育園
8/7 (水)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	大島商船高等専門学校 松村教員室
8/9 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第3回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
8/19 (月)	第2回地域協力委員会	大島商船高等専門学校 小会議室
8/19 (月)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県柳井市 伊陸保育園
8/20 (火)	大島商船学生を対象にしたサイバーパトロールの実施	大島商船高等専門学校 データベース実験室
8/23 (金)	出前授業 はしるふねをつくろう	山口県柳井市 社会福祉法人ひづみ保育園
8/23 (金)	公開講座 もの作り体型講座 -電池とモータで動く-	大島商船高等専門学校 機械工作実験室

8/23 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第4回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
8/28 (水)	公開講座 夏のプログラミング講座 -Scratchでプログラミング-	大島商船高等専門学校 データベース実験室
9/2 (月)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県柳井市 太陽通信株式会社
9/4 (水)	大島丸による社内研修	大島商船高等専門学校 大島丸
9/4 (水)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県柳井市 株式会社フジマ
9/6 (金)	10周年記念事業・施設設備見学会	大島商船高等専門学校 各実験室
9/6 (金)	大島商船高専地域連携交流会総会・会員発表・特別講演・懇親会	山口県柳井市 大晃機械工業株式会社
9/13 (金)	海洋教育パイオニアスクール	大島商船高等専門学校 総合的操船シミュレータ室, 練習船大島丸, すばる
9/13 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第5回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
9/18 (水)	共同研究依頼・地域連携交流会企業会員入会依頼	山口県柳井市 三新化学工業株式会社
9/20 (金)	地域連携交流会ホームページのデザイン打合せ	山口県柳井市 株式会社藤本コーポレーション
9/27 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第6回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
10/2 (水)	地域連携交流会特別会員入会依頼	山口県熊毛郡田布施町 田布施町役場
10/2 (水)	地域連携交流会特別会員入会依頼	山口県熊毛郡上関町 上関町役場
10/2 (水)	地域連携交流会特別会員入会依頼	山口県熊毛郡平生町 平生町役場
10/2 (水)	出前授業 ロボット入門講座	山口県大島郡周防大島町 周防大島町立大島中学校 体育館
10/4 (金)	地域連携交流会特別会員入会依頼	山口県岩国市 岩国市役所
10/4 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第7回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
10/11 (金)	共同研究依頼・周防大島マイクログリッドプロジェクト (安本建設による瀬戸内離島周防大島レジリエンス (防災・災害) を強靱化するスマートアイランド マイクログリッドプロジェクト)	大島商船高等専門学校 藤井雅之教員室

10/11 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第8回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
11/8 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第9回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
11/11 (月)	地域連携交流会特別会員入会依頼	山口県岩国市 株式会社帝人, 株式会社帝人ファーマ
11/22 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第10回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
11/27 (水)	出前出授業 サバイバルレッスン	山口県熊毛郡上関町 上関町立上関小学校, 上関町立上関中学校
11/27 (水)	地域連携交流会特別会員入会依頼	大島商船高等専門学校 古瀬宗雄教員室
11/29 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第11回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
12/2 (月)	共同研究依頼・周防大島マイクログリッドプロジェクト (安本建設による瀬戸内離島周防大島レジリエンス (防災・災害) を強靱化するスマートアイランド マイクログリッドプロジェクト)	大島商船高等専門学校 藤井雅之教員室
2/3 (火)	サイバーボランティアの打合せ	大島商船高等専門学校 小会議室
12/4 (水)	地域支援活動・やまぐち産業振興財団	大島商船高等専門学校 地域協力センター
12/5 (木)	情報工学科4年生 HR 企業講演会・株式会社インフォコム西日本	大島商船高等専門学校 LL 教室
12/12 (木)	情報工学科4年生 HR 企業講演会・株式会社フジマ	大島商船高等専門学校 LL 教室
12/13 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第12回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
12/18 (水)	徳山高専テクノ・リフレッシュ教育センター長との打ち合わせ	大島商船高等専門学校 地域協力センター
12/20 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第13回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
12/24 (金)	中国地区テクノセンター長等会議	岡山県岡山市 ピュアリティまきび2階サファイアの間
1/9 (木)	情報工学科4年生 HR 企業講演会・新川電機株式会社	大島商船高等専門学校 LL 教室
1/10 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第14回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
1/14 (火)	情報工学科3年生希望者の地域連携交流会企業訪問・懇談会	山口県柳井市 株式会社アデリー／フルーツ&カフェホシフルーツ

1/15 (水)	出前授業 サバイバルレッスン	山口県大島郡周防大島町 周防大島町立油田小学校
1/16 (木)	情報工学科4年生 HR 企業講演会・太陽通信株式会社	大島商船高等専門学校 LL 教室
1/18 (土)	出前授業 水ではしるふねをつくろう！	大分県大分市 少年少女科学体験スペース・O-Labo
1/20 (木)	第1回周防大島町総合計画策定審議会	山口県大島郡周防大島町 周防大島町役場
1/29 (水)	KRA 来校	大島商船高等専門学校 校長室
1/30 (木)	平生町・地域振興課	山口県熊毛郡平生町 平生町役場
2/7 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第15回目)	大島商船高等専門学校 小会議室
2/14 (金)	美しい三浦を創る会との打ち合わせ (1回目)	大島商船高等専門学校 地域協力センター
2/17 (月)	美しい三浦を創る会との打ち合わせ (2回目)	大島商船高等専門学校 地域協力センター
3/3 (火)	地域連携交流会特別会員入会依頼	大島商船高等専門学校 地域協力センター
3/3 (火)	地域連携交流会特別会員入会依頼	大島商船高等専門学校 第1体育館
3/10 (火)	地域連携交流会 Web サイト構築対応 (最終システム)	大島商船高等専門学校 地域協力センター
3/16 (月)	地域連携交流会助成金申請対応 (特定営利活動法人島スクエアプラス)	大島商船高等専門学校 地域協力センター (電話対応)
3/22 (日)	地域連携交流会特別会員入会依頼	山口県熊毛郡平生町 小田水産 (場所をお借りして対応)
3/25 (水)	地域連携交流会特別会員入会依頼	大島商船高等専門学校 地域協力センター
3/27 (金)	地域連携交流会関連打合せ	大島商船高等専門学校 地域協力センター
3/27 (金)	公開講座 基礎から学ぶ韓国語講座<ステップアップ> (第16回目)	大島商船高等専門学校 小会議室

2019年度は改装工事のために、地域協力センターは情報棟1階数理計画実験室内に設置

センター運営会議の開催状況

会議の開催回数及び議題

回	開催日	審議事項等
1	令和元年 5月8日(水)	<p>確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度地域協力センター運営体制について (2) 令和元年度スケジュールについて <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度地域協力センター活動計画(案)について (2) 地域協力センター年報について (3) 地域連携交流会役員会について (4) 地域連携交流会総会について (5) 地域連携交流会ホームページ・シーズ集について (6) 今後の予算について (7) 公開講座・出前授業について (8) その他
2	令和元年 8月19日(月)	<p>確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域協力センターの仕事内容について (2) 地域協力センターの活動報告(第1回会議:5月8日以降) (3) 地域協力センターの今後の予定(第2回会議:8月19日以降) (4) 令和元年度地域連携交流会の会員について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域連携交流会10周年記念事業について (2) 地域連携交流会総会について (3) 教員研究発表会について (4) 海洋教育パイオニアスクールについて (5) 地域連携交流会のメリットについて (6) 来年度コーディネータについて (7) その他
3	令和元年 3月実施	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域協力センター年報について (2) 次年度に向けての対応 <p>新型コロナウイルスの対応の為、中止</p>

地域協力センター（令和元年度）

センター長	北風裕教（情報工学科）
副センター長	杉村佳昭（一般科目）
センター委員	尾上智子（一般科目）
	角田哲也（商船学科）
	千葉 元（商船学科）
	増山新二（電子機械工学科）
	岡野内悟（電子機械工学科）
	松村 遼（情報工学科）
総務課長	井手克美
総務課長補佐	坂本 昇
企画係	菊山直樹
	岡田隆宏
	大山友祐

地域協力センター 年報

No.1 2020.3



独立行政法人 国立高等専門学校機構

大島商船高等専門学校

National Institute of Technology, Oshima College